

B5サイズのコンパクト・モバイル

ThinkPad® Xシリーズ (X60s)

B5サイズという、現行 ThinkPad シリーズの中で最もコンパクトな X シリーズをペーパークラフトで再現。光学ドライブを全モデル完全オプションとし、" 軽量、コンパクト " という明確なコンセプトを実現しています。しかし機動性を重視したからといって、決して他シリーズにひけはとりません。全モデルにセキュリティー・チップと指紋センサーを搭載し、セキュリティー問題にも対応。小型ながら、USB2.0×3、IEEE1394(4ピン)×1、PC カード (Type I)×1、SD カード・スロット×1 (SD I/O 1.0 対応)、ドッキング・コネクタを搭載し、優れた拡張性を実現しています。また内骨格構造 "ThinkPad Roll Cage" はもちろん、内部の基盤を密着固定させない "Hover デザイン" さらに落下を予測して HDD の磁気ヘッドを退避させる「ThinkVantage® ハードディスク・アクティブプロテクション・システム」を用意し、さまざまなシチュエーションから大切なデータを守ります。ワイヤレスは、複数のアンテナでより効率的にデータのやりとりを行う "MIMO" を採用したラインナップも用意し通信環境もさらに強化、" パワーモバイル " を実感できる ThinkPad、それが X シリーズです。

プロセッサー:インテル® Core™ Solo プロセッサー/インテル® Core™ Duo プロセッサー、初期導入OS:Windows® XP Professional 正規版、ディスプレイ・サイズ: 12.1V 型 TFT 液晶、本体寸法(W×D×H): 268×211×20~35、質量: 1.27kg~1.39kg、メモリー: 256MB/512MB、HDD:40GB~80GB、オプティカルドライブ:なし(オプションのウルトラベース等で利用可能)、ワイヤレス:IEEE 802.11 a/b/g内蔵または別売り、その他の機能:MIMO対応ワイヤレスLAN搭載モデルあり/指紋センサー搭載モデルあり/セキュリティー・チップ

製品に関する詳細は弊社ホームページをご参照ください。

<http://www.lenovo.com/jp>



ThinkPad® Xシリーズ(X60s) 【組み立て方解説】

lenovo

Lenovo、レノボ、レノボロゴ、ThinkPadは、Lenovo Corporationの商標。 IBM、IBMロゴは、IBM Corporationの商標。

印刷について

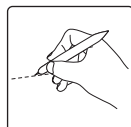
○家庭用インクジェットプリンタで拡大縮小せずに印刷して下さい。
○プリンタの使用はプリンタ付属の説明書に従って下さい。○推奨用紙：キヤノン・マットフォトペーパー / エプソン・フォトマット紙 / サンワサプライ・スーパーファイン厚紙 など

用意するもの

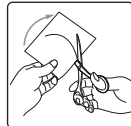
○はさみ○カッターナイフ○定規○先のとがったもの（インクのないボールペンや鉄筆、千枚通しなど）○つまようじ○木工用や合成ゴム系接着剤○マーカー○ピンセット○工作用マット など

作り方

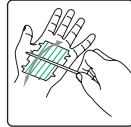
○組み立て図をよく見て、あせらずにゆっくり、ていねいに作業を進めましょう。



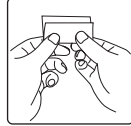
1. 部品を切り取る前に、あらかじめ先のとがったもので山折り線（-----）谷折り線（- - - -）をなぞり、折りスジをつけておきます。



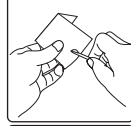
2. キリトリ線（実線）に沿って、ハサミやカッターを使って部品をていねいに切り離します。ハサミよりも紙を動かして切るときれいに切ることができます。



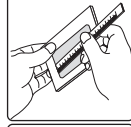
3. 丸みをつける部分は、切りとった部品を手のひらや指の上などに置き、丸い棒でこいて丸みをつけます。作り方図中の（）で示す部分が丸みをつける部分です。



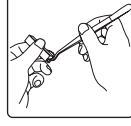
4. 折りスジに沿って一度完全に折り曲げ、しっかりと折りクセをつけておきます。



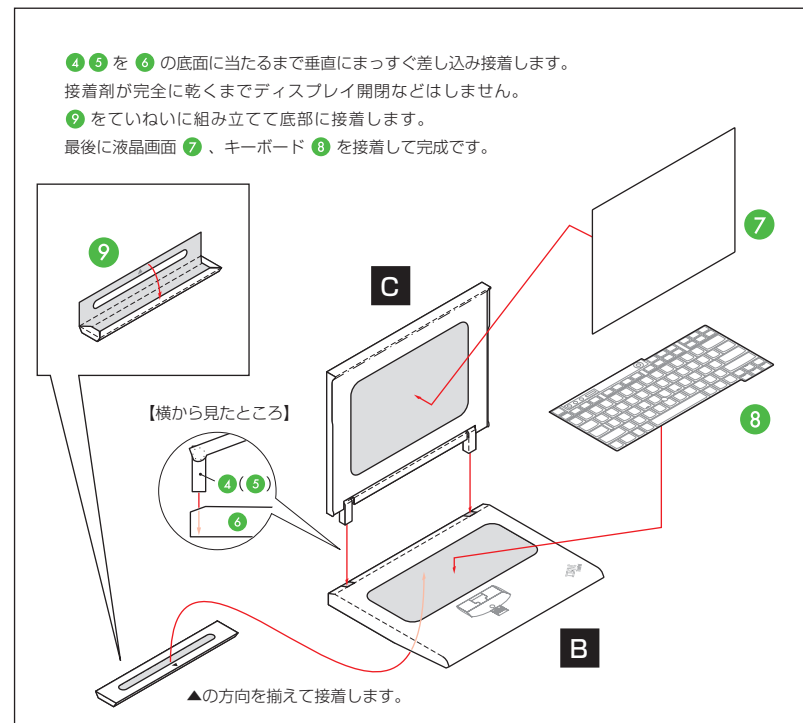
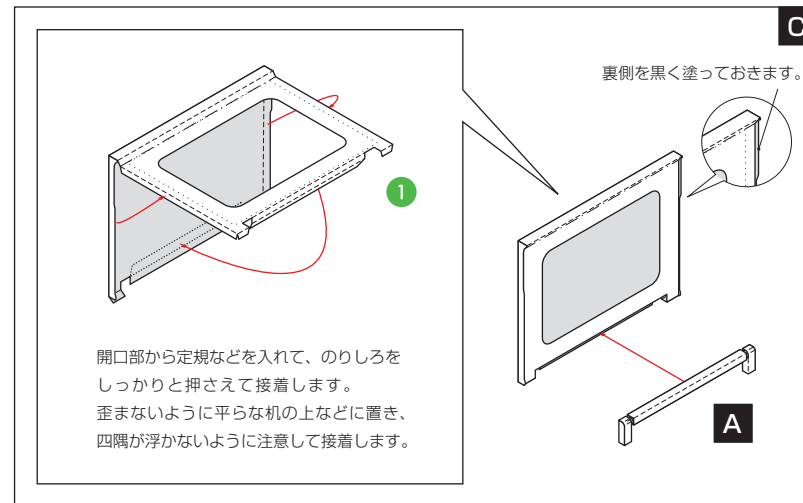
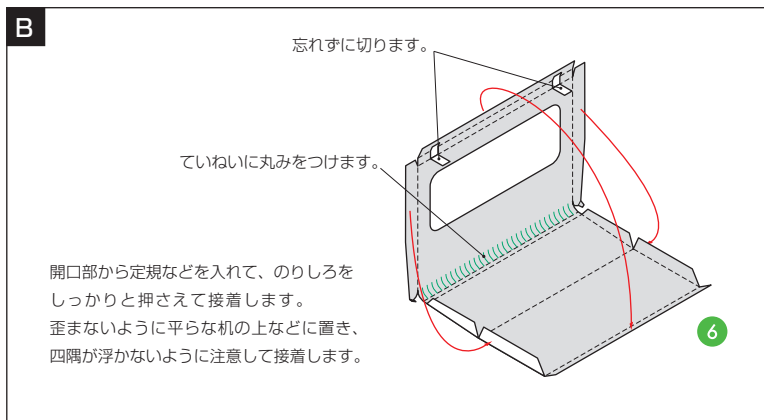
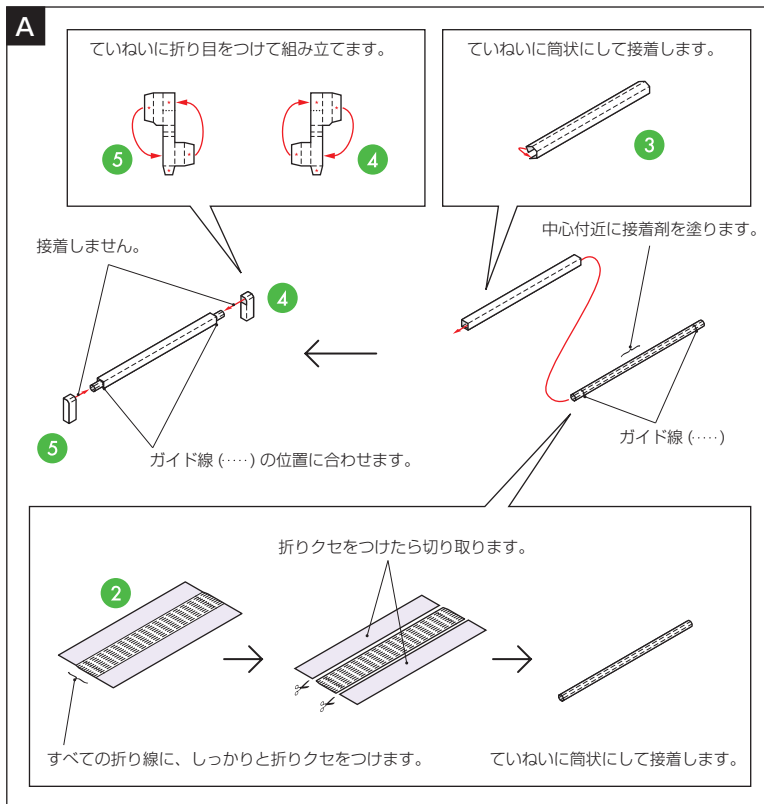
5. 紙の切り口が白く目立つ場合、同色のマーカーなどで着色します。



6. 接着する前に、組み立て図や写真をよく見て一度どんなカタチになるのか仮組みしてみます。ここで切り忘れや折り忘れもチェックします。間違いなければ、のりしろ（★印の面）に、つまようじなどを使って接着剤を薄くていねいに伸ばして塗り、ある程度乾くまで指などで押さえておきます。



7. 指の入らない部分には、開口部から定規などを入れてのりしろを押さええます。細かい部分はピンセットを使って押さえると便利です。のりしろをしっかりと押さえ、接着剤が完全に乾いてから次の作業をすることがポイントです。



【ご注意】 小学生以下のお子様は必ず大人の方と一緒に作業して下さい。紙のカドやフチで怪我をしないようご注意ください。また、はさみやカッターナイフ、接着剤など道具の扱いには十分ご注意ください。

ペーパークラフトデザイン・光武 利将

